



健康管理事業 実績報告

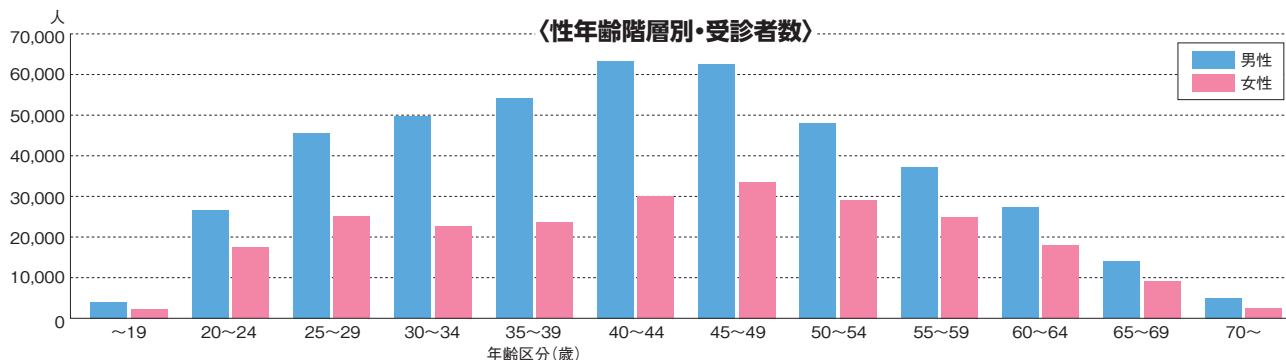
2018年版

平成29年度 健康管理事業実績

一般健康診断受診状況

■平成29年度職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

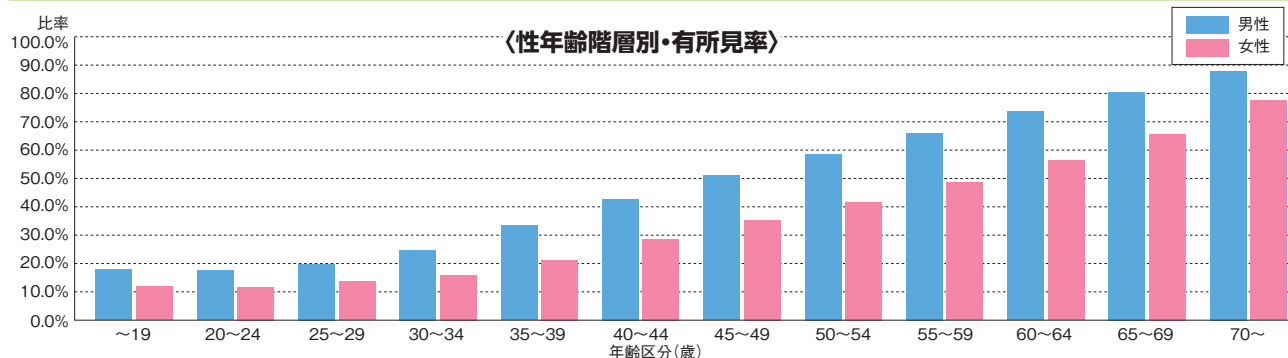
性年齢階層別・受診者数と割合



年齢(歳)	男 性		女 性		合 計	
	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)
～19	4,060	0.9%	2,241	0.9%	6,301	0.9%
20～24	26,596	6.1%	17,435	7.3%	44,031	6.5%
25～29	45,541	10.4%	25,077	10.5%	70,618	10.5%
30～34	49,679	11.4%	22,673	9.5%	72,352	10.7%
35～39	54,074	12.4%	23,621	9.9%	77,695	11.5%
40～44	63,385	14.5%	29,970	12.6%	93,355	13.8%
45～49	62,639	14.3%	33,499	14.1%	96,138	14.2%
50～54	48,011	11.0%	29,071	12.2%	77,082	11.4%
55～59	37,161	8.5%	24,944	10.5%	62,105	9.2%
60～64	27,233	6.2%	17,875	7.5%	45,108	6.7%
65～69	13,961	3.2%	9,247	3.9%	23,208	3.4%
70～	4,924	1.1%	2,347	1.0%	7,271	1.1%
合 計	437,264	100.0%	238,000	100.0%	675,264	100.0%

■集計対象の受診者総数は、675,264人(男性437,264人、女性238,000人)でした。

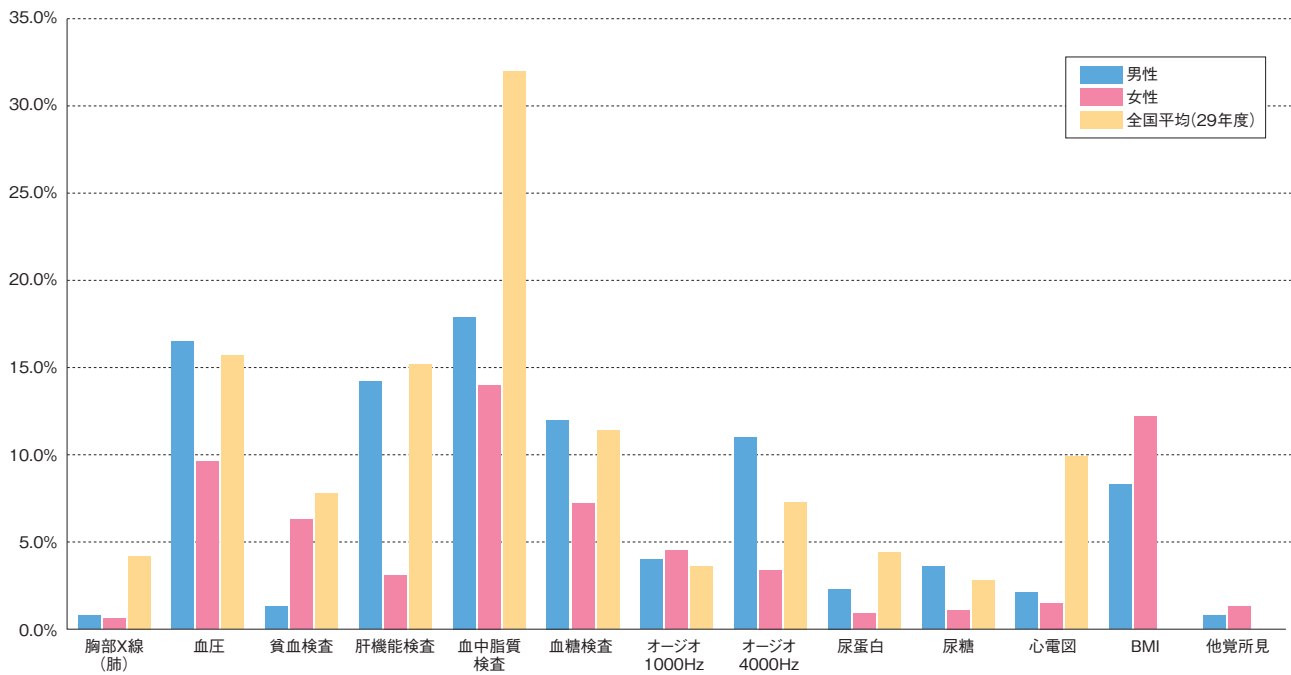
性年齢階層別・所見のあった者の割合



年齢(歳)	男 性		女 性		合 計	
	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)
～19	723	17.8%	264	11.8%	987	15.7%
20～24	4,672	17.6%	2,048	11.7%	6,720	15.3%
25～29	9,021	19.8%	3,439	13.7%	12,460	17.6%
30～34	12,313	24.8%	3,617	16.0%	15,930	22.0%
35～39	18,042	33.4%	5,015	21.2%	23,057	29.7%
40～44	27,141	42.8%	8,614	28.7%	35,755	38.3%
45～49	32,021	51.1%	11,810	35.3%	43,831	45.6%
50～54	28,196	58.7%	12,118	41.7%	40,314	52.3%
55～59	24,574	66.1%	12,090	48.5%	36,664	59.0%
60～64	20,077	73.7%	10,066	56.3%	30,143	66.8%
65～69	11,237	80.5%	6,071	65.7%	17,308	74.6%
70～	4,326	87.9%	1,822	77.6%	6,148	84.6%
合 計	192,343	44.0%	76,974	32.3%	269,317	39.9%

■健診項目全体の有所見率は39.9%(男性44.0%、女性32.3%)でした。全国有所見率54.1%(厚生労働省 平成29年度結果より)と比較すると、KKC有所見率(39.9%)は低くなっています。

性別健診項目別・有所見率

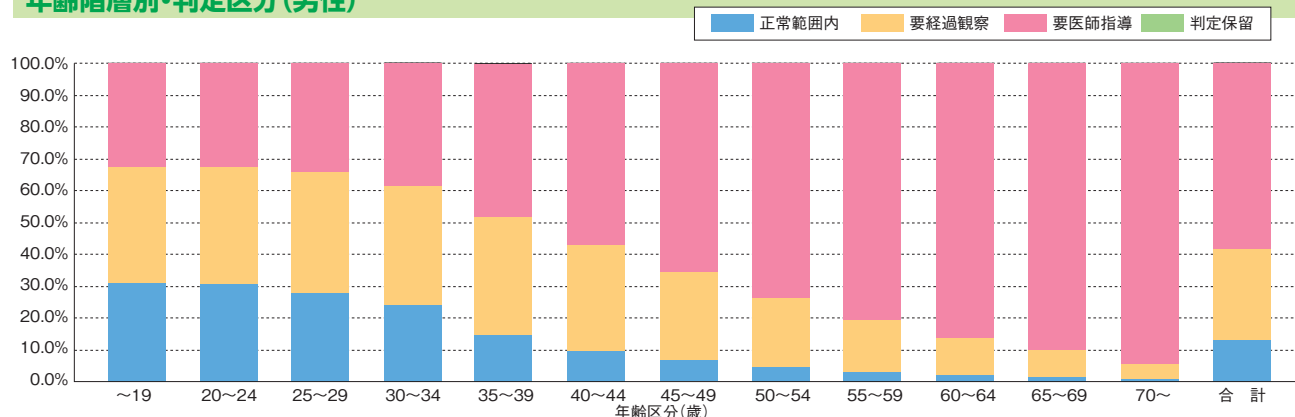


性別	胸部X線(肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ1000Hz	オージオ4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.8%	16.5%	1.3%	14.2%	17.9%	12.0%	4.0%	11.0%	2.3%	3.6%	2.1%	8.3%	0.8%
女性	0.6%	9.6%	6.3%	3.1%	14.0%	7.2%	4.5%	3.4%	0.9%	1.1%	1.5%	12.2%	1.3%
全国平均(29年度)	4.2%	15.7%	7.8%	15.2%	32.0%	11.4%	3.6%	7.3%	4.4%	2.8%	9.9%	—	—

■胸部X線検査(肺) 有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。
 ※血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

平成29年度 健康管理事業実績

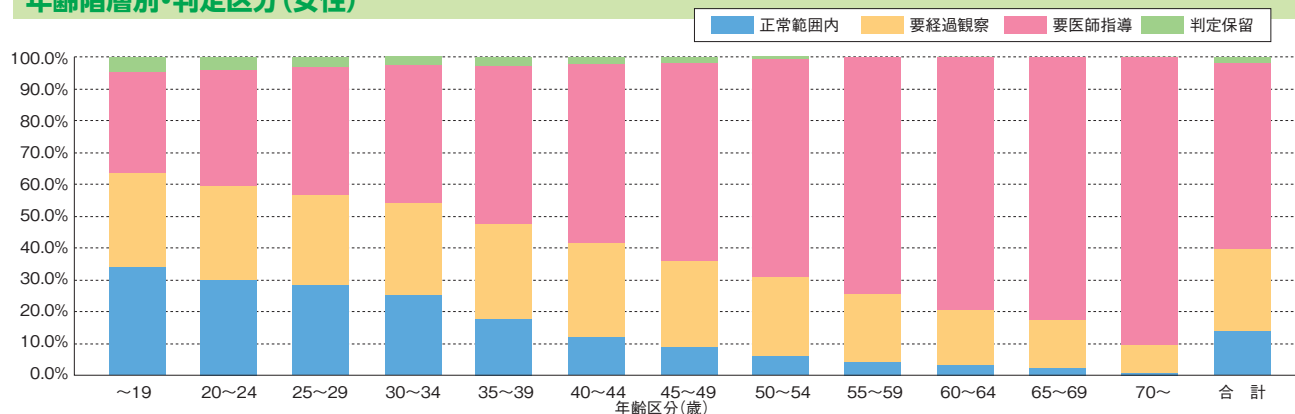
年齢階層別・判定区分(男性)



年齢(歳)	受診者数(人)	指 導 管 理 区 分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	4,060	1,262	31.1%	1,470	36.2%	1,328	32.7%	0	0.0%
20～24	26,596	8,139	30.6%	9,726	36.6%	8,731	32.8%	0	0.0%
25～29	45,541	12,653	27.8%	17,252	37.9%	15,636	34.3%	0	0.0%
30～34	49,679	11,899	24.0%	18,521	37.3%	19,258	38.8%	1	0.0%
35～39	54,074	7,967	14.7%	19,925	36.8%	26,173	48.4%	9	0.0%
40～44	63,385	6,112	9.6%	20,956	33.1%	36,309	57.3%	8	0.0%
45～49	62,639	4,142	6.6%	17,400	27.8%	41,084	65.6%	13	0.0%
50～54	48,011	2,192	4.6%	10,346	21.5%	35,467	73.9%	6	0.0%
55～59	37,161	1,141	3.1%	6,047	16.3%	29,970	80.6%	3	0.0%
60～64	27,233	511	1.9%	3,190	11.7%	23,530	86.4%	2	0.0%
65～69	13,961	201	1.4%	1,156	8.3%	12,603	90.3%	1	0.0%
70～	4,924	37	0.8%	233	4.7%	4,652	94.5%	2	0.0%
合 計	437,264	56,256	12.9%	126,222	28.9%	254,741	58.3%	45	0.0%

■平成28年度健康診断の総受診者中、要経過観察は26.9%、要医師指導は57.2%でしたが、それに比較して、平成29年度は1.1～2.0ポイント高いものの、大きな変化はみられませんでした。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

年齢階層別・判定区分(女性)



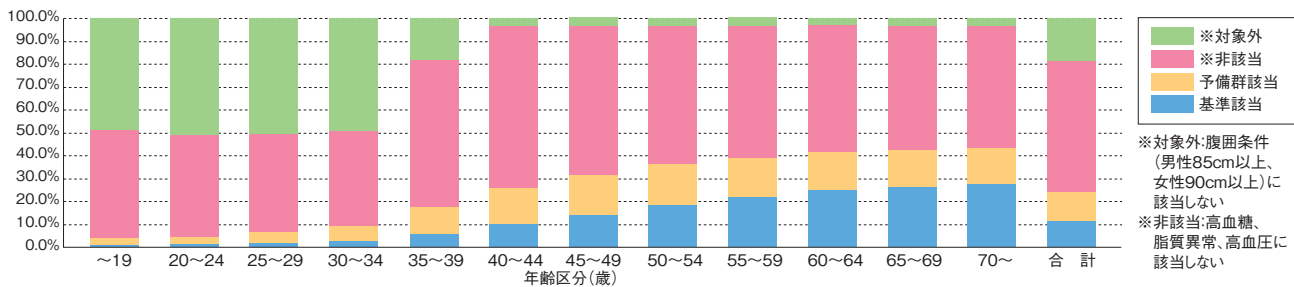
年齢(歳)	受診者数(人)	指 導 管 理 区 分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	2,241	760	33.9%	660	29.5%	711	31.7%	110	4.9%
20～24	17,435	5,236	30.0%	5,106	29.3%	6,390	36.7%	703	4.0%
25～29	25,077	7,082	28.2%	7,154	28.5%	9,996	39.9%	845	3.4%
30～34	22,673	5,683	25.1%	6,545	28.9%	9,820	43.3%	625	2.8%
35～39	23,621	4,185	17.7%	7,045	29.8%	11,719	49.6%	672	2.8%
40～44	29,970	3,556	11.9%	8,854	29.5%	16,870	56.3%	690	2.3%
45～49	33,499	2,912	8.7%	9,120	27.2%	20,808	62.1%	659	2.0%
50～54	29,071	1,724	5.9%	7,256	25.0%	19,885	68.4%	206	0.7%
55～59	24,944	1,021	4.1%	5,325	21.3%	18,591	74.5%	7	0.0%
60～64	17,875	571	3.2%	3,074	17.2%	14,225	79.6%	5	0.0%
65～69	9,247	216	2.3%	1,381	14.9%	7,649	82.7%	1	0.0%
70～	2,347	16	0.7%	205	8.7%	2,126	90.6%	0	0.0%
合 計	238,000	32,962	13.8%	61,725	25.9%	138,790	58.3%	4,523	1.9%

■平成28年度合計平均の要経過観察21.4%、要医師指導53.5%と比較し、平成29年度は4.5～4.8ポイント高いものの、大きな変化はみられませんでした。女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと考えられます。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

性年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

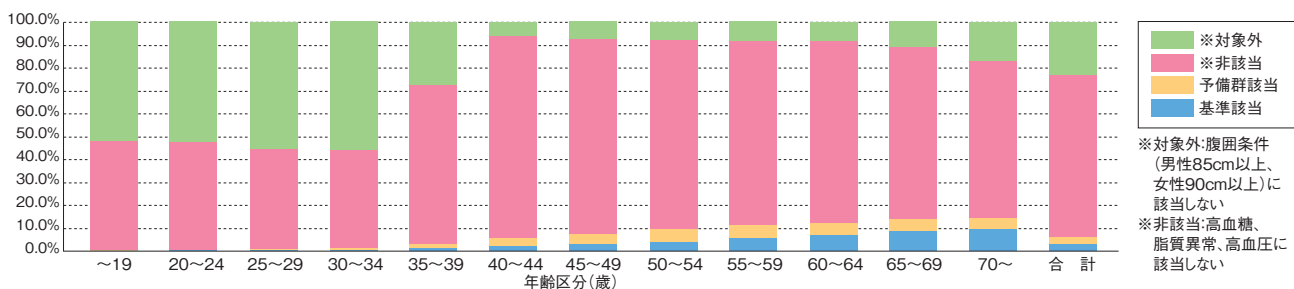
男性

年齢 (歳)	受診者数 (人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	4,060	31	0.8%	114	2.8%	1,934	47.6%	1,981	48.8%
20～24	26,596	231	0.9%	862	3.2%	11,934	44.9%	13,569	51.0%
25～29	45,541	719	1.6%	2,170	4.8%	19,550	42.9%	23,102	50.7%
30～34	49,679	1,154	2.3%	3,279	6.6%	20,808	41.9%	24,438	49.2%
35～39	54,074	2,940	5.4%	6,415	11.9%	34,723	64.2%	9,996	18.5%
40～44	63,385	6,274	9.9%	10,072	15.9%	44,658	70.5%	2,381	3.8%
45～49	62,639	8,687	13.9%	10,900	17.4%	40,821	65.2%	2,231	3.6%
50～54	48,011	8,743	18.2%	8,568	17.8%	28,935	60.3%	1,765	3.7%
55～59	37,161	7,974	21.5%	6,427	17.3%	21,431	57.7%	1,329	3.6%
60～64	27,233	6,695	24.6%	4,559	16.7%	15,105	55.5%	874	3.2%
65～69	13,961	3,631	26.0%	2,308	16.5%	7,559	54.1%	463	3.3%
70～	4,924	1,336	27.1%	778	15.8%	2,643	53.7%	167	3.4%
合 計	437,264	48,415	11.1%	56,452	12.9%	250,101	57.2%	82,296	18.8%

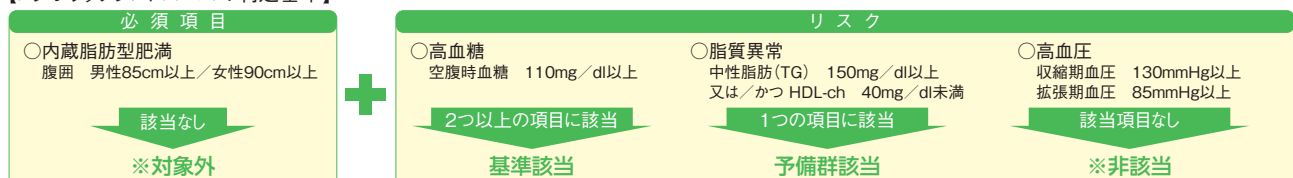


女性

年齢 (歳)	受診者数 (人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	2,241	0	0.0%	6	0.3%	1,066	47.6%	1,169	52.2%
20～24	17,435	12	0.1%	67	0.4%	8,195	47.0%	9,161	52.5%
25～29	25,077	37	0.1%	127	0.5%	10,991	43.8%	13,922	55.5%
30～34	22,673	71	0.3%	209	0.9%	9,726	42.9%	12,667	55.9%
35～39	23,621	211	0.9%	497	2.1%	16,335	69.2%	6,578	27.8%
40～44	29,970	570	1.9%	1,136	3.8%	26,319	87.8%	1,945	6.5%
45～49	33,499	888	2.7%	1,578	4.7%	28,469	85.0%	2,564	7.7%
50～54	29,071	1,139	3.9%	1,590	5.5%	23,954	82.4%	2,388	8.2%
55～59	24,944	1,395	5.6%	1,342	5.4%	20,111	80.6%	2,096	8.4%
60～64	17,875	1,217	6.8%	953	5.3%	14,149	79.2%	1,556	8.7%
65～69	9,247	763	8.3%	514	5.6%	6,903	74.7%	1,067	11.5%
70～	2,347	221	9.4%	118	5.0%	1,604	68.3%	404	17.2%
合 計	238,000	6,524	2.7%	8,137	3.4%	167,822	70.5%	55,517	23.3%



【メタボリックシンドロームの判定基準】



平成29年度 労災二次健康診断

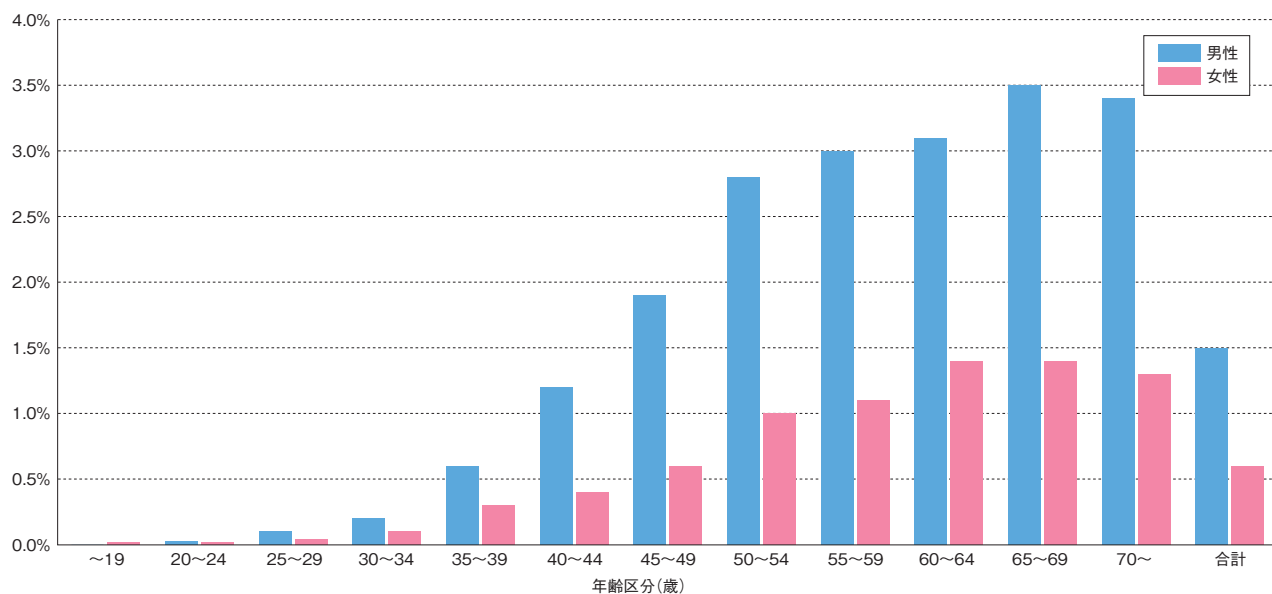
労災二次健康診断対象者

■下記のガイドラインが示す1～4の項目全てを満たす受診者を対象とし、脳虚血疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。

平成29年度の検査対象者の割合は、受診者の1.2%(男性1.5% 女性0.6%)、前年度(受診者の0.9%(男性1.2% 女性0.4%))に比べ増加しています。

項目	年齢 (歳)	男 性			女 性			合 計		
		受診者数 (人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数 (人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数 (人)	労災二次対象(4項目該当)	
			人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)
労災二次 対象者	～19	4,060	0	0.0%	2,241	1	0.0%	6,301	1	0.0%
	20～24	26,596	5	0.0%	17,435	1	0.0%	44,031	6	0.0%
	25～29	45,541	51	0.1%	25,077	10	0.0%	70,618	61	0.1%
	30～34	49,679	122	0.2%	22,673	17	0.1%	72,352	139	0.2%
	35～39	54,074	333	0.6%	23,621	64	0.3%	77,695	397	0.5%
	40～44	63,385	780	1.2%	29,970	124	0.4%	93,355	904	1.0%
	45～49	62,639	1,207	1.9%	33,499	210	0.6%	96,138	1,417	1.5%
	50～54	48,011	1,334	2.8%	29,071	277	1.0%	77,082	1,611	2.1%
	55～59	37,161	1,117	3.0%	24,944	271	1.1%	62,105	1,388	2.2%
	60～64	27,233	846	3.1%	17,875	244	1.4%	45,108	1,090	2.4%
	65～69	13,961	491	3.5%	9,247	131	1.4%	23,208	622	2.7%
	70～	4,924	167	3.4%	2,347	31	1.3%	7,271	198	2.7%
合 計		437,264	6,453	1.5%	238,000	1,381	0.6%	675,264	7,834	1.2%

階層別・労災二次健診対象者(4項目該当)



【労災二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン】

以下の検査の1～4の項目すべてを満たすもの

- 血 圧：収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上
- 血中脂質：LDLコレステロール140mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
- 血 糖：空腹時血糖値(食後8時間以上)：110mg/dl以上 食後血糖値(食後8時間未満)：140mg/dl以上※1
HbA1c(NGSP)：6.0%以上
- 肥 満：BMI25以上、二次健診時に内臓脂肪型肥満の判定として、ウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

【対象者除外条件】

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血などの脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

※1KKC有所見追加基準

平成29年度 特殊健康診断

概 要

特殊健康診断の受診者数は、厚生労働省の統計では増加傾向にありますが、KKCの集計においても概ね増加しています。特に、特定化学物質等の取扱者に対する健康診断受診者数の増加は続いています。主に製造業における新規導入化学物質の取扱い量の増加によるものと考えられ、それにとまない健康診断受診数が増加しています。

1. 特殊健康診断（法定）の所見率

①じん肺健康診断

■受診者数は増加しているものの、管理区分2以上の有所見率は近年1%未満で推移しており、厚生労働省の調査より低値を示しています。

対象物質	受診者数	管 理 区 分（小陰影区分）											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,431	0	7,383	27	7	4	2	3	5	0	0	0	0
	比率	0.00%	99.35%	0.36%	0.09%	0.05%	0.03%	0.04%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

②有機溶剤健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
有機溶剤	43,496	32,740	1,570	0	0	25	7,350	1,811
	比率	75.27%	3.61%	0.00%	0.00%	0.06%	16.90%	4.16%

③鉛健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
鉛	3,039	2,376	0	0	0	0	573	90
	比率	78.18%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	18.85%	2.96%

④特定化学物質等健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	※延べ受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
特定化学物質	42,075	33,722	419	5	0	3	6,993	933
	比率	80.15%	1.00%	0.01%	0.00%	0.01%	16.62%	2.22%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診数で表記しています。

平成29年度 特殊健康診断

⑤石綿健康診断

■前年度に比べ受診者数は増加していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,628	3,049	0	9	0	0	1,478	92
	比率	65.88%	0.00%	0.19%	0.00%	0.00%	31.94%	1.99%

⑥電離放射線健康診断

■前年度に比べ受診者数は増加していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	7,384	5,457	260	28	0	4	1,509	126
	比率	73.90%	3.52%	0.38%	0.00%	0.05%	20.44%	1.71%

⑦歯科健康診断

■前年度に比べ受診者数は減少していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管 理 区 分				
		特別	1	2	3	4
歯 科	4,612	7	1,048	3,528	37	4
	比率	0.15%	22.72%	76.50%	0.80%	0.09%

2. 指導勧奨による特殊健康診断の所見率

紫外線・赤外線業務従事者健診

■前年度に比べ受診者数は増加していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線 業務従事者	2,848	2,529	6	4	0	0	5	304
	比率	88.80%	0.21%	0.14%	0.00%	0.00%	0.18%	10.67%

騒音作業健康診断

■前年度に比べ受診者数は減少していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管 理 区 分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	14,057	5,160	4,499	3,135	556	314	0	0	129	264
	比率	36.71%	32.01%	22.30%	3.96%	2.23%	0.00%	0.00%	0.92%	1.88%

T：聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合（管理 Rに属するものを除く）

T0：当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

VDI作業健康診断

■前年度に比べ受診者数は減少していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管 理 区 分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
VDI作業	12,584	7,019	426	1,974	0	0	994	2,171
	比率	55.78%	3.39%	15.69%	0.00%	0.00%	7.90%	17.25%

ストレスチェック

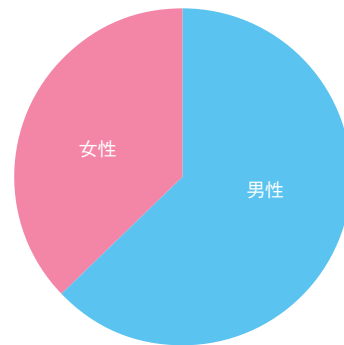
1. ストレスチェック集計(全般)

集計対象期間	2017/04/01 ~ 2018/03/31	受検者数	118,133	受検事業所数	1,027
--------	-------------------------	------	---------	--------	-------

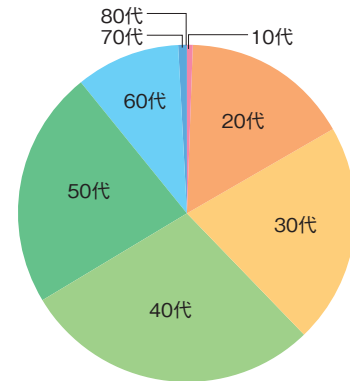
性別	受検者数	割合
男性	74,206	62.8%
女性	43,927	37.2%

年齢階層	受検者数	割合
10代	731	0.6%
20代	19,248	16.3%
30代	24,708	20.9%
40代	33,889	28.7%
50代	26,966	22.8%
60代	11,605	9.8%
70代	958	0.8%
80代	28	0.0%

■受診割合:全体集計



■年齢別受診割合:全体集計

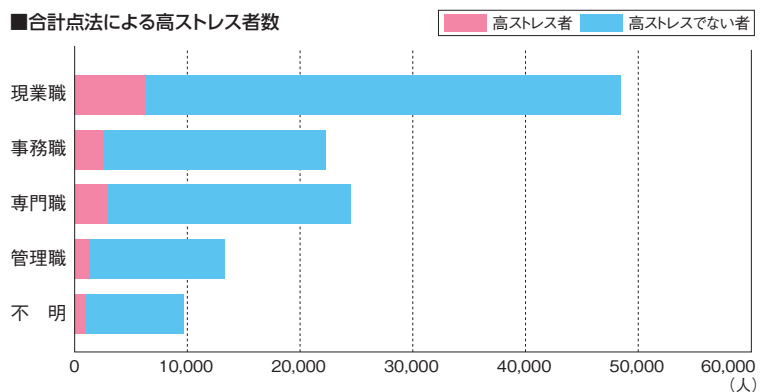


紙受検者数	113,121
紙受検事業所	1,002
Web受検者数	5,012
Web受検事業所	86

■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	6,348	48,453	13.1%
事務職	2,601	22,197	11.7%
専門職	2,813	24,511	11.5%
管理職	1,282	13,295	9.6%
不明	1,010	9,677	10.4%

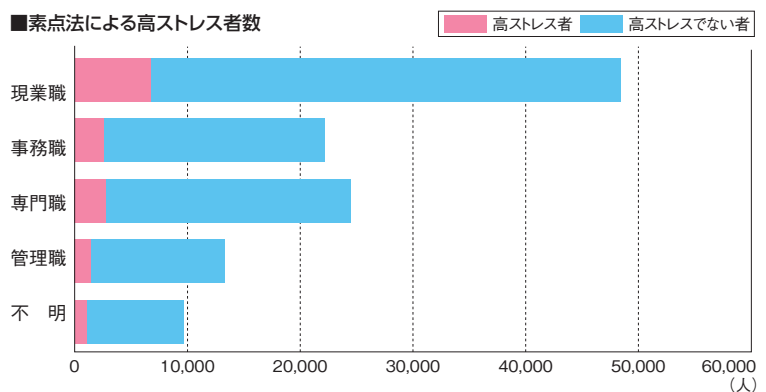
■合計点法による高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	6,717	48,453	13.9%
事務職	2,559	22,197	11.5%
専門職	2,769	24,511	11.3%
管理職	1,471	13,295	11.1%
不明	1,045	9,677	10.8%

■素点法による高ストレス者数



高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-厚生労働省HPより抜粋-

ストレスチェック

■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

平均値出典:平成19年度総括・分担報告書

表4.職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値および標準集団との比較より
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

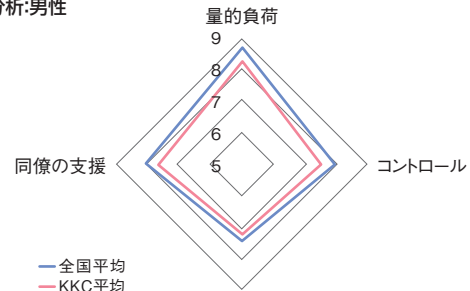
■集団分析KKCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.3	7.5	7.2	7.7
女性	8.0	7.2	6.9	7.9

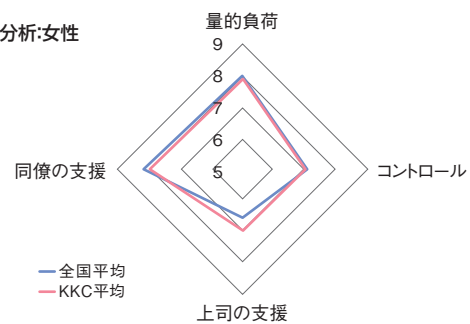
■全国平均とKKC平均の差

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.4	0.4	0.3	0.4
女性	-0.1	0.0	-0.3	0.3

■集団分析:男性



■集団分析:女性



男性は、全ての項目において全国平均を下回っています。

■集団分析職種別全国平均(東京医科大学の調査より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
女性	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0

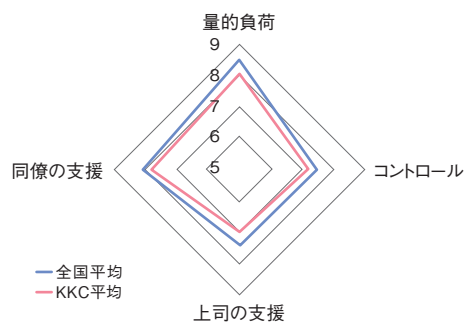
■集団分析KKCにて受検された事業所職種別の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.1	7.3	7.0	7.6
	事務職	8.4	7.8	7.7	7.9
	専門職	8.8	7.8	7.6	8.1
	管理職	9.0	8.2	7.7	8.0
	不 明	6.7	6.1	5.7	6.1
女性	現業職	7.8	7.0	6.7	7.9
	事務職	7.6	7.8	7.2	7.9
	専門職	9.1	7.4	7.6	8.4
	管理職	9.6	8.0	7.6	8.1
	不 明	6.6	6.1	5.7	6.5

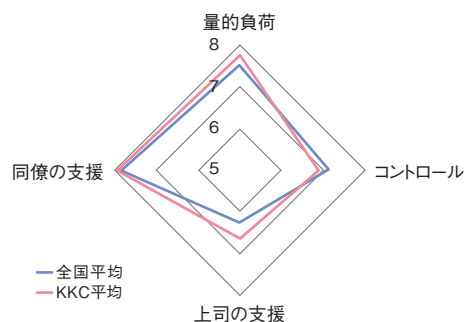
■全国平均とKKC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	0.4	0.2	0.4	0.4
	事務職	0.2	0.2	0.0	0.3
	専門職	-0.1	0.1	-0.2	-0.1
	管理職	0.1	0.2	0.3	0.4
女性	現業職	-0.3	0.2	-0.4	-0.1
	事務職	0.0	-0.2	-0.4	0.2
	専門職	-1.2	-0.2	-0.9	-0.2
	管理職	-0.3	-0.3	-0.9	-0.1

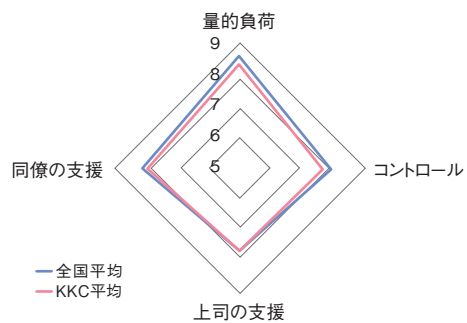
■集団分析:男性現業職



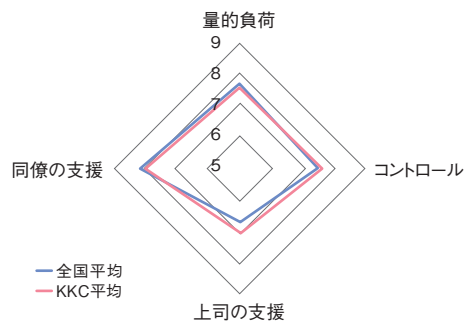
■集団分析:女性現業職



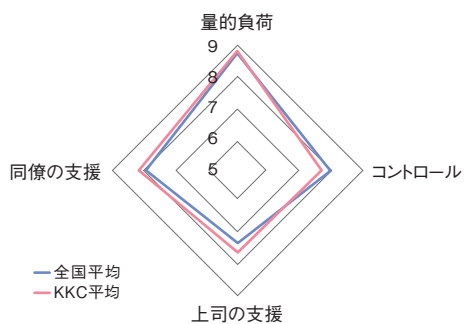
■集団分析:男性事務職



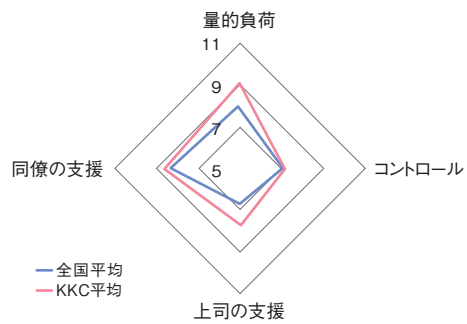
■集団分析:女性事務職



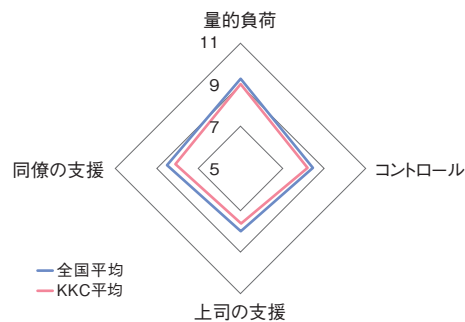
■集団分析:男性専門職



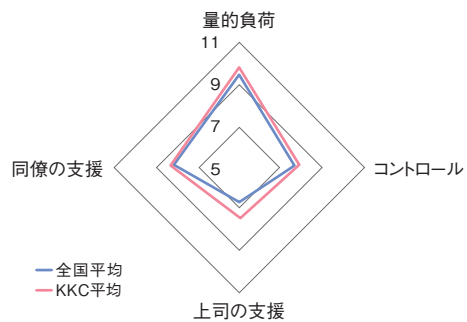
■集団分析:女性専門職



■集団分析:男性管理職



■集団分析:女性管理職



男性は、全国平均との差異があまり顕著には現れていませんが、女性は、専門職・管理職で差異がみられました。



KKC 近畿健康管理センター

URL <http://www.zai-kkc.or.jp/>



- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷